

## 別記様式

## 議 事 録

会議の名称	岩倉市五条川小学校区統合保育園検討委員会
開催日時	令和5年2月21日(火) 午前9時30分から正午まで
開催場所	岩倉市生涯学習センター 研修室1・2
出席者 (欠席委員・説明者)	鎌倉博委員長、瀬野由衣副委員長 委員：15名 欠席委員：1名 事務局：長谷川忍教育こども未来部長 西井上剛子育て支援課課長 佐久間喜代彦同保育グループ長 南端隆佳同主査 デザインボックス(以下、DB)：杉山、山田、岡
会議の議題	・議題 (1) 最近の保育園の建設事例紹介について (2) 岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想(案)に関するパブリックコメントの結果報告について (3) 岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想(案)について ・その他 (1) その他
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他( )
会議に提出された資料の名称	・配布資料 (1) 「岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想(案)」に対するご意見と市の考え方(対応一覧)(資料1) (2) 岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想(案)(資料2)
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	3人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 あいさつ

- ・事務局より今回の議題の流れについて説明
- ・委員長よりあいさつ
- ・議題内容の確認

2 議題

(1) 最近の保育園の建設事例紹介について

【DB から建設事例紹介】

委員：事例紹介の保育園などには扉が少ないが防犯はどうしているのか。

現在の保育園では教室の扉に鍵を掛けて防犯対策をしている。

また、乳児・幼児の園庭を分けていたが交流がなくなるデメリットがあるのではないか。

岩倉の特色として異年齢保育を行っているが、事例のように統合保育園では年齢別のクラス編成を実施する予定なのか。

D B：防犯面については各市町村、園によってリスク許容度をどこに置くかで大きく変わる。設計では自由に出入りできるエリアとそうでないエリアを設定し防犯区画ラインを設けて明確にする事が重要。

これまで設計してきた保育園では、外部からの侵入よりも子どもが外に出てしまうことを重視し防犯区画ラインの扉は大人でしか届かない高さに鍵を掛けるなどの工夫を施してきた。保育室の扉が少ない計画で子ども達が自由に歩き回ることができるような場合でも、必ずどこかに施錠区画をしてゾーン分けを行う。

委員長：扉については自身の経験上、連続扉を使用する事で部屋を区切る事も広く使うことも可能とする手法もある。

事務局：異年齢保育は行う予定。参考事例のように、乳児・幼児用の園庭を分けるか否かは今後の設計で考慮する。

委員：一つの園庭の場合でも時間帯を分けて遊ぶこともあるが、分けて遊ぶことが定着するよりは、普段の遊び方の中で交流していくことが異年齢保育における保育士のねらいでもある。

事務局：DBに紹介して頂いた参考事例は最近の保育園を知る為の紹介で、事例と同じものを計画するという訳ではない。この事例紹介をふまえた上で岩倉の保育には何が相応しいかを考えるためのものである。

委員長：参考事例は一般的なイメージを持ってもらう為の資料であり、統合園でも同じようにするわけではない。

委員のご発言は、園庭を分ける場合でも、交流が持てる計画にして頂きたいという要望と理解したい。

委員：今回の候補敷地を見る限り2階建になる可能性が高いと思う。階段が必要になる

が、参考事例で見た階段は長い階段であった。踊り場が無いと踏み外した時に下の階まで転げ落ちる危険性がある。また階段まわりに柵が設置されると思うが、子どもが1階にモノを投げたり柵をよじ登ったりする可能性があるため、何らかの対応をお願いしたい。

委員長：細かい事を決める場ではないが、今後の設計にそういったことを踏まえて頂きたいという要望である。

今回が最後の委員会のため、事例を見て他に要望などある方は意見を頂きたい。

委員：保育士の方にも事例紹介をしていただきありがたく思う。今後も保育士の要望を確認できる場を設けて頂きたいと思う。

委員：これまでDB自身が設計した園舎で、竣工後に「こうだったらよかった」などの改善点として思いつく例があればお聞きしたい。

D B：設計を進める中で施主の要望を確認し、課題や目的を共有したうえで進めることが大切だと思う。その共有がないとどんな提案をしても上手くいかない。議論の中にもあった防犯面はどうするのかなど、基本方針をきっちりしておく必要がある。

## (2) 岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想（案）に関するパブリックコメントの結果報告について

### 【資料1に基づき事務局から説明】

委員：パブリックコメントの意見を見て大きく4つ確認したい。

- ・プール設置や位置、構造、大きさはどう考えているのか。
- ・保育士の休憩室や更衣室などはあるのか。
- ・仙奈、北部、あゆみの家にあるプールなどの付属施設と同等の内容を計画するものと想像していたが、例えば砂場やプールなど設置するか否かは現段階でどのような判断になっているのか。
- ・東海豪雨の際、対象敷地周辺は浸水しているはずだが、防災などの点は大丈夫なのか。子ども向けの福祉避難所としての機能があると良いのではないか。

事務局：現段階で統合保育園に計画する付属施設として確定したものがあるわけではない。現行の保育園と全く同じ設備でいくかどうかについては、今までの経験等に基づき取捨選択していく。

更衣室の有無などは基本設計以降の話で結論として回答できないが、設計士や保育士の意見を聞きながら検討していく。

細かい設計については、個別にお答えすることは難しいが、これまでの説明と同様に保護者や保育士の意見を聞きながら進めていく。

プール設置については大きさや構造、コスト面や管理面の事もある為、仕様や運営方法はこれから検討する。

委員長：浸水の危惧や福祉避難所は設計を進める中で、今後検討していただきたい。

事務局：現在、岩倉市の保育園で緊急避難場所として指定されている園は3園ある。福祉避難所としての機能を設けるか否かは、設計を進める中で検討していく。

委員長：自身が園長を経験した際の話であるが、その園はプールが作れないほどの狭い土地であった。そのためプールは市内のスイミングスクールと契約しており、メリットとしては、水質管理や施設の維持管理の手間が省けたほか、温水プールのため、年間を通して使用する事が出来る。

また、別の園では屋上にプールを設置しているが、風や日差しのこと、民家に水が掛からないことなどを考慮する必要がある。

委員：委員会終了後の設計においても情報を細かく提供して頂きたい。その際にもパブリックコメントなど実施して情報を共有して頂きたい。

委員長：この委員会は統合園をどうするのか大きな方針を決める場である。

逐一報告すると予算や工期など様々な事に影響を与えてしまう懸念もあるが、この点については、事務局に回答をお願いします。

事務局：一人一人の意見を聞く事は困難な為、設計途中に随時情報を公開していくことは現在考えておらず、ここで頂いた意見を基に設計を進めていくつもりである。しかし案がもう少し具体的になったところで市民の方とどのように共有するかは現在検討中である。

委員長：可能な限り市民の方にも意見を聞く形で進めていく。しかしすべての意見を受け入れる事は困難である点をご承知いただきたい。

### (3) 岩倉市五条川小学校区統合保育園基本構想(案)について

#### 【資料2に基づき第3回検討委員会より修正した点を事務局から説明】

委員：駐車場を別途設けていただく事は賛成であるが安全対策などはどう考えているのか。とくにあゆみの家から駐車場までの歩行距離が延びるとその分危険が増えるため、安全対策をお願いしたい。

事務局：検討委員会やパブリックコメントで駐車場に対して多くの意見をいただき、対象敷地外に駐車場があった方が良いという結論に至った。

園の出入口は思いやり駐車場から保育園・あゆみの家にアプローチし易いように計画する想定である。

委員：レイアウト図の思いやり駐車場は具体的にどういったものなのか。表示はされるのか。また、思いやり駐車場の上の緑色部分は何のスペースなのか。駐車場の出入り口には門など設置するのか。

事務局：思いやり駐車場は子どもの乗り降りや歩行距離が短い方が良い人が利用されることを想定している。利用者が分かりやすいように車椅子マークなど、必要としている人が分かりやすい表記を付ける事を想定している。あゆみの家の保護者が常

に停める駐車場とは考えていない。長時間の駐車は、追加した敷地の駐車場に停めていただくような運営を想定している。

レイアウト図の緑色の部分は未定部分である。今後の設計で決めていく。

駐車場門扉の有無については現状まだ決まっていない。しかし、管理上何らかの対処はする予定である。

委員長：思いやり駐車場は使っていく中で保護者と保育士の方が運用ルールを相談しながら使用すると良い。

委員：岩倉北幼稚園が同じような形で駐車場を設けている。保護者に統一された交通ルールを定めるなどの事例があれば参考にしているかどうか。

また、岩倉北幼稚園には屋上プールがあるので参考にしているかどうか。

委員：屋上にプールの設置はしてあるが、鉄骨造は難しい為鉄筋コンクリート造の上に設置してある。荷重の問題もあるので考慮しながら設置した方が良い。

駐車場は20台ほど停める事が可能である。しかし駐車場までの動線は一方通行ではないため、保護者には一方通行でお願いしている。地域住民にはそこまで強要できないが、理解をいただきながら運営している。

委員：五条川小学校に通われている卒園児の保護者から、現在DBが基本構想策定業務を行っているが今後の設計業務はどの業者が行うのか。変更する場合はどう決めるのかという質問があった。

また、新園舎には、限られた予算の中で過度にやりすぎず必要なものをしっかり入れて欲しい。予算の中で市の保育士の正規雇用、給与アップをお願いしたい。災害時、避難所としての機能を設けて欲しいとの意見があった。

事務局：新しい園舎の設計に詳しいDBにこれまでの情報提供をお願いしてきた。また、その関わりで委員会での意見も聞いてもらってきている。基本設計の事業所選定方法は現在、検討中である。建設工事は入札で行う。

限られた予算を有効に使うためにも、全体の優先度からコスト配分を考えて設計・建設を行う。

委員：駐車場追加の土地購入は現在の予算枠からと考えているのか。

先程議題に上がった駐車場までの交通ルールは最初から決めておいた方が良いのではないかと。

事務局：現在の予算には見込んでいない為、予算を増額することを考えている。

パブリックコメントにもあるように保護者には一方通行のルールなど最初から園の自主的な交通ルールをお願いする可能性もある。

### 3 その他

#### (4) その他

##### ■検討委員会総括

委員長：検討委員会での意見、ワークショップやパブリックコメントなど多くの意見を集

め、可能な限り活かした委員会であった。

副委員長：委員会終了後も市・保護者・保育者が一体となって子どもを真ん中にしながら、市全体が繋がり合う形で意見交換し、今後の園の設計も含め、どんな保育をしていきたいかを考えながら進めていただけたら良いと思う。

事務局：貴重な意見をいただき、良い構想が出来たと思う。

基本設計では今回の意見、保護者、保育士の意見を活かし設計していこうと考えている。

土地に関しては委員会終了後から交渉が始まり、用地取得後は建設のための調査等が進んでいくことになるが、今回の構想が実現できるように努めていく。

岩倉の保育を進めていくためにも、公立園、私立園に限らず、小学校等も含めて総合的に子育てしやすいまちとなる一つがこの保育園であり、今後ご意見を聞く姿勢を大切にしながら進めたい。

岩倉市初の保育園を統合するプロジェクトとして岩倉市全体で進めていくので、引き続きご協力いただくようお願いしたい。

以上で、検討委員会を終了する。